

## 第7章 総合的分析及び課題

### 第1 子供の事故に係る各調査からの分析

#### 1 救急事故の事例調査

##### (1) 事故全体の傾向

- ア 事故総数68,038人のうち、0～12歳の事故は10,090人で14.8%を占める。
- イ 人口10万人あたりの年間事故人数は、0～5歳が6～12歳の2.5倍である。
- ウ 0～12歳の事故種別割合は、一般負傷(96.0%)、運動による事故(3.7%)、水による事故(0.4%)の順である。
- エ 0～12歳の初診時程度は、92.8%が軽症である。

##### (2) 0～5歳の傾向

- ア 0～12歳の一般負傷のうち、0～5歳の事故は71.3%である。
- イ 発生場所は、住宅(68.1%)、一般道路(7.0%)、公園・広場等(5.9%)の順である。
- ウ 受傷形態は、転倒(36.5%)、墜落・転落(18.9%)、異物・誤飲(13.8%)の順である。
- エ 関連器物は、家具(18.9%)、階段(9.6%)、遊具(5.1%)の順である。

##### (3) 6～12歳の傾向

- ア 0～12歳の一般負傷のうち、6～12歳の事故は28.7%である。
- イ 発生場所は、住宅(31.8%)、公園・広場等(19.6%)、小学校(18.8%)、一般道路(9.6%)と、0～5歳に比べ分散している。
- ウ 受傷形態は、転倒(35.4%)、墜落・転落(21.6%)、衝突(8.5%)の順である。
- エ 関連器物は、遊具(18.8%)、階段(7.8%)、家具(6.0%)の順である。

##### (4) 運動による事故の傾向

- ア 0～12歳の運動中に起きた事故の内訳は、0～5歳が2.4%、6～12歳が97.6%となっており、6～12歳の割合が非常に高い。
- イ ほとんどが6～12歳であり、野球やサッカーの練習中に人やボールに衝突するなどが主な原因である。

##### (5) 水による事故の傾向

- ア 0～12歳の水による事故のうち、0～5歳が82.1%と高い割合を占めている。
- イ 0～5歳の事故の発生場所は、住宅(87.5%)で、関連器物は浴槽(84.0%)が多く、入浴中に発生したものは75.0%にのぼる。そのうち、初診時程度が中等症以上の割合は62.5%と、他の事故に比べ高い。

## 2 実態調査

- (1) 利用状況は、すべり台、ぶらんこ、ジャングルジム、雲梯の順である。
- (2) 本調査における利用者の推定年齢別割合は、0～5歳が72.7%、6～12歳が27.3%である。
- (3) (社)日本公園施設業協会が、代表的な遊具の注意事項として取り上げている「危険が予測される行動」をとった子供の割合は、雲梯(79.2%)、ぶらんこ(76.9%)、すべり台(69.7%)、ジャングルジム(45.1%)の順である。
- (4) 保護者が子供に手の届くところで付き添っている割合は、0～5歳が48.8%、6～12歳が11.9%で、年齢が低いほど高くなっている。

## 3 保護者等の意識調査

- (1) 子供の事故経験を知っている割合は、小学校教員52.6%、保護者33.5%、子供のヒヤリ・ハット事案を経験した割合は、小学校教員84.2%、保護者54.8%である。
- (2) 事故発生時、保護者の50.9%が子供の見えるところにいなかった。
- (3) 「子供への事故防止に対する配慮」について、常に注意している割合は、保護者57.6%、小学校教員92.1%で、小学校教員が高い割合となっている。
- (4) 事故責任の所在についての保護者の意識は、子供の年齢により変化している。0～5歳の事故は、「保護者自身に責任がある」が62.6%を占め、6～12歳の事故は、「子供本人に責任がある」が51.1%を占めている。
- (5) 「事故に至る過程」を理解することにより、事故防止ができるという意識は、保護者が77.8%、小学校教員が63.2%と共に高い。

## 4 文献調査

- (1) 成長に伴い運動量と冒険心が増大し、活動場所が拡大する。
- (2) 0～5歳の子供は、好奇心が強く「物をつかむ」、「口に入れる」という行動がある。
- (3) 0～5歳の子供は、バランス感覚の発達が未熟であり、転倒・転落等を起こし易い。
- (4) 平成16年中の東京都の人口における救命講習の受講人員の割合は4.3%である。

## 第2 総合的分析

### 1 0～5歳の事故

- (1) 住宅内での事故が多く、危険に対する認識、運動能力・バランス感覚の未熟さなどが主原因として挙げられる。
- (2) 転倒、墜落・転落、異物・誤飲などは、保護者が見守ることにより防止できるものと考えられる。特に異物・誤飲は、タバコ、薬剤、洗剤等による中毒や異物による呼吸停止など、生命にかかわる事案となる可能性があるが、保護者の見守り及び安全な環境づくりにより防止できるものと考えられる。
- (3) 家具、階段による事故は、「階段から転落した」、「転倒して家具にぶつかった」などが原因と考えられる。
- (4) 水による事故は8割以上が住宅内の浴槽において発生している。子供の好奇心による行動や保護者が目を離した時に事故が発生し、生命に係る事案となる可能性があるが、保護者の見守り及び浴室の管理により防止できるものと考えられる。
- (5) 実態調査によると遊具の利用率及び保護者が子供に手の届くところでの付き添い率は、0～5歳が6～12歳に比べ高いのに対し、事例調査における遊具の事故は少ないことから、保護者のサポートが有効と考えられる。
- (6) 保護者及び小学校教員の「子供への事故防止に対する配慮」への意識は高い。
- (7) 保護者等が知っている子供の事故経験及び子供のヒヤリ・ハット経験から、危険は多数潜在していると考えられ、また、子供自身では防げない事故も多いことから、親のサポートが不可欠と考えられる。

### 2 6～12歳の事故

- (1) 活動範囲の広がりから公園・広場等、小学校、道路などにおける事故が多くなっている。
- (2) 転倒、墜落・転落は運動能力の発達に加え、身長、体重、運動量、俊敏性、冒険心の増大が事故につながっていると考えられる。特に遊具にかかわる事故が一番多く、危険が予測される行動も多く見られることから、安全教育により防止できるものと考えられる。
- (3) 事例調査での遊具の事故数は、すべり台、ぶらんこ、鉄棒、ジャングルジム、雲梯の順となっている。また、実態調査では、すべり台、ぶらんこは、「危険が予測される行動」をとった子供が多いことから、事故が発生しやすい。高低差のあるすべり台、ジャングルジム、雲梯は、転落・墜落により重大事故につながる可能性がある。

### 第3 課題

#### 1 0～5歳の事故

- (1) 危険に対する認識、運動・バランス能力の未熟さがあり、保護者等が付き添うことが必要である。
- (2) 異物・誤飲は、関連器物としてタバコ、薬剤、洗剤などが含まれることや口にしまったものが不明な場合もあり、重大な事故につながる可能性があることから、注意が必要である。
- (3) 浴槽等における事故は、重大な事故につながる可能性があり、常に注意が必要である。
- (4) 常に保護者が一緒にいられるとは限らないことから、異物・誤飲、溺水などの事故につながらない環境の確保が必要である。
- (5) 保護者及び教員の子供の事故に対する意識は非常に高いので、「事故に至る過程」について正確な情報の提供が必要である。
- (6) 応急救護にかかわる延べ普及人員は増加しているが、事故に居合わせた保護者等が、適切な処置をできるように応急手当の更なる普及が必要である。

#### 2 6～12歳の事故

- (1) 運動能力の発達に加え、身長、体重、運動量、俊敏性、冒険心が増大し、活動範囲の広がりや危険と隣り合わせの行動も多くなることから、「事故に至る過程」についての学習が必要である。
- (2) すべり台、雲梯、ジャングルジムなどの高低差のある遊具については、転落・墜落による重大事故の可能性があり、正しい使い方の知識が必要である。

## 第8章 提言

短期的な対策（速やかにできるもの）

長期的な対策（将来的にできるもの）

### 第1 保護者の対策

- 1 小学校未就学の子供が、異物・誤飲、浴槽での溺水などによる事故を起こさないよう環境を確保する。
- 2 事件事例集等を活用し、子供がわかりやすい様に事故内容を具体的に示して教える。
- 3 小学校未就学の子供の発達の未熟さ及び事故に至る過程を理解し、子供を見守る。
- 4 心肺蘇生法、異物の除去、ケガ等に対応する応急手当の習得に努める。

事 故 事 例 【 遊 具 】	保育園隣の公園で、友人の乗ったぶらんこに近づき衝突、頭部を受傷した。（2歳男、軽症）
事 故 事 例 【異物・誤飲】	自宅で水の入った灰皿で遊んでいたところ、タバコを食べてしまったようなので救急要請した。（0歳男、軽症）
事 故 事 例 【 溺 水 】	父親が浴槽内に水没しているのを発見した。水から引き揚げたところ、意識呼吸なく全身チアノーゼであったため、母親が人工呼吸を1回実施したところ意識回復したが、心配なので救急要請した。（3歳男、中等症）

### 第2 保育施設及び教育機関等の対策

- 1 保育園・幼稚園・小学校・PTA等は、事件事例集等を活用し、保護者に対して事故防止についての知識の普及を図る。
- 2 子供に対して事故防止に係る知識の普及を図る。  
危険な場所、危険な遊び方、遊具等の事故につながりやすい使い方、事故の原因を理解させ、安全に行動する態度、事故の予知・予測、安全への配慮などの知識・能力を育成する。
- 3 保育士、幼稚園教諭、小学校教員は、心肺蘇生法、異物の除去、ケガ等に対応する応急手当の習得に努める。

事 故 事 例 【 遊 具 】	公園内のすべり台を逆から登っていたところ、靴が脱げそのまま下にすべり落ち、右足の指を受傷した。（6歳女、軽症）
	友人の乗ったぶらんこに近づき衝突、頭部を受傷したもの。（2歳男、軽症）

第3 公園等の管理者及び遊具に係る業界団体の対策

遊具の利用者に対する適切な利用方法、対象年齢及び遊具の不具合に関する連絡先などについて表示し、注意を呼びかけるなど、事故の未然防止を図る。

事 故 事 例 【 遊 具 】	公園内のすべり台で遊んでいる際に、約2.5mの高さから墜落したため、救急車を呼んだ。(2歳女、中等症)
	高さ約2mの雲梯にぶら下がり、降りようとした際、着地に失敗し、転倒して受傷した。(10歳男、中等症)
意 識 調 査	遊具の設置や修理は、コスト面を優先するのではなく、安全面を第一に考えて欲しい。安全面については、大人の考えでなく、子供の目線で考えて欲しい。子供達は沢山の可能性があるのだから。(30代女性)
	遊具をなくすより、注意事項を明記し、自己(親の)責任の範囲で使用するようにして、遊具を設置して欲しい。(40代女性)

第4 東京消防庁の対応

- 1 事故事例集を作成し、保育園・幼稚園・小学校・PTA等に提供する他、教育の場における支援を行う。
- 2 ホームページ等により事故状況や防止策等の情報を提供する。

意 識 調 査	何でもすばやい情報が欲しい。(30代女性)
	事故にならなくても、ヒヤッとするような事例を把握する態勢をとって欲しい。(30代女性)

## 資料1 子供の身近な危険調査

子供にとって身近な危険として、家庭内での事故があげられる。このなかで、次の2点について実際の家庭内の状況や実態を調査した。

異物・誤飲は、子供の事故、10,090人の受傷者のうち、953人(9.4%)となっている。受傷者はすべて0～5歳であり、0～5歳全体の受傷者、6,941人に占める割合は13.7%になる。

入浴中の事故は、水による事故全体の39人のうち、25人(64.1%)を占めている。特に0～5歳の事故が多く、受傷者32人中24人、75.0%が家庭での溺水(風呂等)である。

以下、調査内容である。ここでは、3～4歳の子供を持つ親4名に対してアンケートを実施した。それに加えて室内での「子供の手の届くところにある異物・誤飲につながりそうなもの」については写真に収めてもらった。

### 第1 身近な危険(異物・誤飲)について

#### 1 年齢等

- (1) 年齢 ( 歳)
- (2) 身長 ( cm)
- (3) 現在、子供は主に (ハイハイする・つかまり立ちをする・歩く・その他)

調査	年齢(歳)	身長(cm)	現在、子供は主に…
1	4	100	歩く
2	3	92	歩く
3	3	95	歩く
4	3	98	歩く

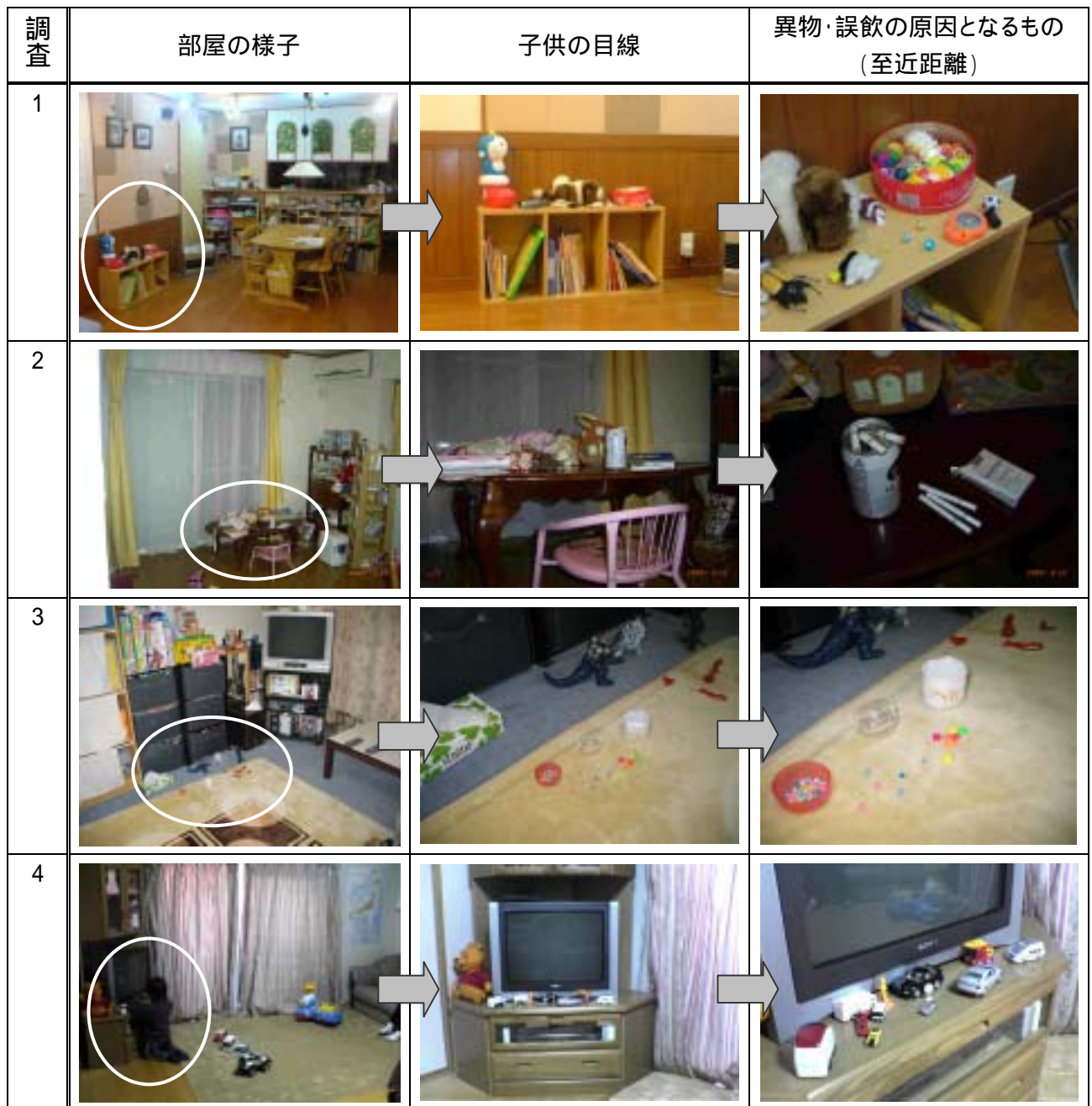
調査1～4の子供は、年齢3～4歳、身長92～100cmと成長発達段階(第6章 参1)でみれば「幼児」で、発達の特性と遊びの内容としては「走る・飛び跳ねる・登る・ぶら下がるなどの動作がかなり可能になる。好奇心が強まり、怖いもの知らずで、すべての遊具で遊ぼうとするが、持久力はなくバランス感覚も十分ではない。」となっている。

#### 2 チェックしている家の場所は(居室・台所・廊下・寝室・その他)

調査	チェックしている家の場所は…
1	居室
2	居室
3	居室
4	居室

調査1～4の親がチェックしている家の場所は、いずれも居室である。

### 3 子供の手の届くところにある異物・誤飲につながりそうなもの（写真）



### 4 家の場所をチェックした結果、異物・誤飲につながると感じた物

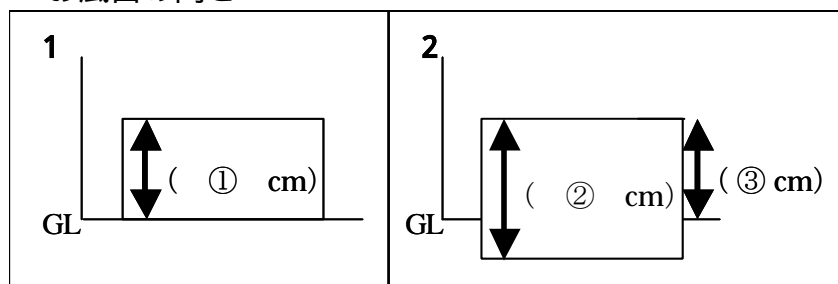
調査	異物・誤飲につながると感じた物は…
1	ビー玉
2	たばこ
3	玩具
4	ミニカー、小さな玩具

上記の写真は、調査1～4それぞれの家の中で、子供の手の届くところにある異物・誤飲につながりそうなものを撮った写真である。どの事例でも、いずれも身近な場所、物が異物・誤飲につながりそうなものとして挙げられている。



## 第2 身近な危険（お風呂）について

## 1 お風呂の高さ



調査	風呂の形式	床からの高さ、(cm)	風呂の深さ (cm)
1	2	40	50
2	2	40	50
3	1	55	
4	1	56	

上記の図1、2はお風呂の形式を表したものである。

それぞれに該当するお風呂を選択し、深さ・高さを計ったものが上記の表である。調査3、4は図1の風呂の形式であり、風呂の深さ＝床からの高さとなっている。深さは平均55.5cmで、調査3、4ともに子供の身長の上半分となっている。一方、調査1、2は、図2の形式であり、風呂の深さはともに50cm、床からの高さは40cmとなっている。子供の身長と比べると、お風呂の床からの高さは半分に満たない。

## 2 お風呂の戸（扉）の状態

調査	お風呂の戸（扉）は鍵が…	鍵をかけて…
1	ない	
2	ある	いない
3	ない	
4	ない	

お風呂の戸（扉）には、鍵がついているか、ついていれば鍵をかけているかについては、上記の表のとおりである。4人中1人のみが鍵がついていると回答したが、通常鍵はかけていない。

## 3 お風呂の水

調査	お風呂の水は…
1	入れている
2	入れている
3	入れている
4	入れている

お風呂の浴槽に水を入れているか、いないかについては、4人全員が入れていると回答した。



## 資料2 各調査様式

### 実態調査票

#### 1. すべり台

すべり台(滑降系)		調査表	
実施日時	平成17年 月 日( ) 午前・午後 時 分から 時 分	実施場所	区・市 町 施設名称
気象状況:前日	晴・曇・雨	気象状況:当日	晴・曇・雨 (風有・無)
基本情報			
性別	(男・女)	年齢(推定)	( )歳
行動面 (あてはまるものをつける、複数可) 1-12以外の行動は、その他へ記入			
1. 逆から登っている	2. 上から物を投げる		
3. 走って降りる	4. ぶらさがって遊ぶ		
5. 順番を守らない	6. 遊んでいるそばで遊ぶ		
7. 複数で滑っている	8. 勢いよく滑る		
9. 横向きに滑っている	10. 後ろ向きに滑っている		
11. 遊具の下にもぐっている	12. 落下防止柵の外側に出ている		
13. 特になし			
保護者の有・無及び動向 該当 非該当			
1. 保護者が付き添って来ている	1	2	
2. 保護者は、子供に手の届く所にいる(遊具の傍らにいる)	1	2	
3. 保護者は、子供の動きが見える離れた所にいる。	1	2	
4. 保護者は、子供の声は聞こえるが、動きが見えない所にいる。	1	2	
5. 保護者は、携帯電話で話す・保護者同士で話す・本を読んでいるなど、子供の動きを見守っていない。	1	2	
施設面 該当 非該当			
1. 遊具の直下・周辺の地表面がアスファルト・コンクリートである。	1	2	
2. 遊具の直下・周辺に樹木、花壇、排水溝、他の遊具等がある。	1	2	
3. ガラスや金属片、ロープが落ちている	1	2	
4. 一部が壊れている、または、外されたまま放置されている	1	2	
5. 塗装が剥がれている、または、錆びている	1	2	
6. 支柱のコンクリート基礎部が露出している	1	2	
服装・その他 (あてはまるものをつける、複数可)			
1. 脱げやすい靴を履いている	2. 小さな子に気を配って遊んでいない		
3. 上着の前を開けっ放しにして、遊んでいる	4. 棒、枝、おもちゃなどを持って遊ぶ		
5. 表面が濡れている遊具で遊んでいる	6. 年齢にあった遊具を使用していない		
7. 遊具にひもを巻きつけて遊ぶ	8. ランドセルやカバンを背負ったり、掛けたまま遊んでいる		
9. 首周りにマフラーやひもなどのひっきりやすいものをつけている			

#### 2. ぶらんこ

ぶらんこ(揺動系)		調査表	
実施日時	平成17年 月 日( ) 午前・午後 時 分から 時 分	実施場所	区・市 町 施設名称
気象状況:前日	晴・曇・雨	気象状況:当日	晴・曇・雨 (風有・無)
基本情報			
性別	(男・女)	年齢(推定)	( )歳
行動面 (あてはまるものをつける、複数可) 1-10以外の行動は、その他へ記入			
1. 飛び降りる・飛び乗る	2. 乗っている子の背中を勢いよく押す		
3. 片足で乗っている	4. はりにぶら下がる		
5. 複数で乗っている	6. 勢いよくこぐ		
7. 立って遊ぶ	8. 遊んでいるそばで遊ぶ		
9. 横向きに乗っている	10. 手を離す		
11. 特になし			
保護者の有・無及び動向 該当 非該当			
1. 保護者が付き添って来ている	1	2	
2. 保護者は、子供に手の届く所にいる(遊具の傍らにいる)	1	2	
3. 保護者は、子供の動きが見える離れた所にいる。	1	2	
4. 保護者は、子供の声は聞こえるが、動きが見えない所にいる。	1	2	
5. 保護者は、携帯電話で話す・保護者同士で話す・本を読んでいるなど、子供の動きを見守っていない。	1	2	
施設面 該当 非該当			
1. 遊具の直下・周辺の地表面がアスファルト・コンクリートである。	1	2	
2. 遊具の直下・周辺に樹木、花壇、排水溝、他の遊具等がある。	1	2	
3. ガラスや金属片、ロープが落ちている	1	2	
4. 一部が壊れている、または、外されたまま放置されている	1	2	
5. 塗装が剥がれている、または、錆びている	1	2	
6. 支柱のコンクリート基礎部が露出している	1	2	
服装・その他 (あてはまるものをつける、複数可)			
1. 脱げやすい靴を履いている	2. 小さな子に気を配って遊んでいない		
3. 上着の前を開けっ放しにして、遊んでいる	4. 棒、枝、おもちゃなどを持って遊ぶ		
5. 表面が濡れている遊具で遊んでいる	6. 年齢にあった遊具を使用していない		
7. 遊具にひもを巻きつけて遊ぶ	8. ランドセルやカバンを背負ったり、掛けたまま遊んでいる		
9. 首周りにマフラーやひもなどのひっきりやすいものをつけている			

#### 3. ジャングルジム

ジャングルジム(登攀運動系)		調査表	
実施日時	平成17年 月 日( ) 午前・午後 時 分から 時 分	実施場所	区・市 町 施設名称
気象状況:前日	晴・曇・雨	気象状況:当日	晴・曇・雨 (風有・無)
基本情報			
性別	(男・女)	年齢(推定)	( )歳
行動面 (あてはまるものをつける、複数可) 1-6以外の行動は、その他へ記入			
1. 上に立って、手を離して遊んでいる	2. 上から物を投げる		
3. 途中の横棒に座って遊んでいる	4. ぶらさがって遊ぶ		
5. 上から飛び降りている	6. 遊んでいるそばで遊ぶ		
7. 特になし			
保護者の有・無及び動向 該当 非該当			
1. 保護者が付き添って来ている	1	2	
2. 保護者は、子供に手の届く所にいる(遊具の傍らにいる)	1	2	
3. 保護者は、子供の動きが見える離れた所にいる。	1	2	
4. 保護者は、子供の声は聞こえるが、動きが見えない所にいる。	1	2	
5. 保護者は、携帯電話で話す・保護者同士で話す・本を読んでいるなど、子供の動きを見守っていない。	1	2	
施設面 該当 非該当			
1. 遊具の直下・周辺の地表面がアスファルト・コンクリートである。	1	2	
2. 遊具の直下・周辺に樹木、花壇、排水溝、他の遊具等がある。	1	2	
3. ガラスや金属片、ロープが落ちている	1	2	
4. 一部が壊れている、または、外されたまま放置されている	1	2	
5. 塗装が剥がれている、または、錆びている	1	2	
6. 支柱のコンクリート基礎部が露出している	1	2	
服装・その他 (あてはまるものをつける、複数可)			
1. 脱げやすい靴を履いている	2. 小さな子に気を配って遊んでいない		
3. 上着の前を開けっ放しにして、遊んでいる	4. 棒、枝、おもちゃなどを持って遊ぶ		
5. 表面が濡れている遊具で遊んでいる	6. 年齢にあった遊具を使用していない		
7. 遊具にひもを巻きつけて遊ぶ	8. ランドセルやカバンを背負ったり、掛けたまま遊んでいる		
9. 首周りにマフラーやひもなどのひっきりやすいものをつけている			

#### 4. 雲梯

雲梯(登攀運動系)		調査表	
実施日時	平成17年 月 日( ) 午前・午後 時 分から 時 分	実施場所	区・市 町 施設名称
気象状況:前日	晴・曇・雨	気象状況:当日	晴・曇・雨 (風有・無)
基本情報			
性別	(男・女)	年齢(推定)	( )歳
行動面 (あてはまるものをつける、複数可) 1-7以外の行動は、その他へ記入			
1. 飛び降りる・飛び乗る	2. 上に立っている		
3. 両手を離す	4. 上を渡る		
5. 複数で遊んでいる	6. 遊んでいるそばで遊ぶ		
7. 順番を守らない	8. 特になし		
保護者の有・無及び動向 該当 非該当			
1. 保護者が付き添って来ている	1	2	
2. 保護者は、子供に手の届く所にいる(遊具の傍らにいる)	1	2	
3. 保護者は、子供の動きが見える離れた所にいる。	1	2	
4. 保護者は、子供の声は聞こえるが、動きが見えない所にいる。	1	2	
5. 保護者は、携帯電話で話す・保護者同士で話す・本を読んでいるなど、子供の動きを見守っていない。	1	2	
施設面 該当 非該当			
1. 遊具の直下・周辺の地表面がアスファルト・コンクリートである。	1	2	
2. 遊具の直下・周辺に樹木、花壇、排水溝、他の遊具等がある。	1	2	
3. ガラスや金属片、ロープが落ちている	1	2	
4. 一部が壊れている、または、外されたまま放置されている	1	2	
5. 塗装が剥がれている、または、錆びている	1	2	
6. 支柱のコンクリート基礎部が露出している	1	2	
服装・その他 (あてはまるものをつける、複数可)			
1. 脱げやすい靴を履いている	2. 小さな子に気を配って遊んでいない		
3. 上着の前を開けっ放しにして、遊んでいる	4. 棒、枝、おもちゃなどを持って遊ぶ		
5. 表面が濡れている遊具で遊んでいる	6. 年齢にあった遊具を使用していない		
7. 遊具にひもを巻きつけて遊ぶ	8. ランドセルやカバンを背負ったり、掛けたまま遊んでいる		
9. 首周りにマフラーやひもなどのひっきりやすいものをつけている			

# アンケート用紙

## 1. 保護者

**子どもの事故に関するアンケート調査**

東京消防庁では、子どもの事故( )に関する調査を行っています。  
建築物に設置された自動回転ドアの事故をはじめ、公園・遊び場、学校のブランコ、すべり台などの遊具による事故等に見られるように、これまでに予想もなかった事故が相次いで発生し、子どもの安全を脅かしています。子どもの安全確保及び事故防止対策に役立てるためにアンケートをお願いするものです。ご協力お願いいたします。

あなたのお子さん・預かっているお子さん(以下、子どもとします)が、過去2年間にあった事故などについてお伺いします。以下の質問に 印や文字などでお答えください。  
このアンケートでは、事故を「ケガ、やけど、のどに詰まらせる、食べ物でないもの(異物)をなめる・飲み込む、動物にかまれる、ハチに刺される」とします。病院で治療を受けなかったケガ、やけどなども含みます。

問1. あなたの性別・年齢を記入してください。  
( 男 性 ・ 女 性 ) ( 20 歳代 30 歳代 40 歳代 50 歳代 その他 )

問2. 子どもとの関係を記入してください。  
(1) 父母 (2) 祖父等 (3) その他 ( )

問3. 子どもが事故があったことがありますか?  
( はい ・ いいえ ) はい 問4へ、いいえ 問15へ

問4. 事故があった時の子どもの性別・年齢を記入してください。(複数の場合は、治るまでに日数が多かった2件まで記入してください。)  
( 男 子 ・ 女 子 ) 歳 ヶ月 ( 男 子 ・ 女 子 ) 歳 ヶ月

問5. 事故があった年月、およびその時刻について教えてください。  
平成 年 月 午前/午後 時頃 平成 年 月 午前/午後 時頃

問6. 事故はどこで起きましたか?  
(1) 自宅 (2) 公園・広場 (3) デパート・スーパー等 (4) 道路 (5) 駅 (6) 幼稚園・保育園・小学校 (7) その他 ( )

問7. どのような事故でしたか?  
(1) 転倒・転落 (2) 挟まれ (3) 衝突(4) 誤飲(異物を飲み込むこと) (5) その他 ( )

7-1. (4)誤飲と回答した方へ、お伺いします。  
誤飲したものは何ですか?  
(1) タバコ (2) おもちゃ (3) 洗剤 (4) 薬 (5) その他 ( )

誤飲したものはどこにありましたか?  
子どもの(1)手の届く所 (2)手の届かない所

7-2. (4)誤飲と回答した方へ、お伺いします。  
誤飲したものは何ですか?  
(1) タバコ (2) おもちゃ (3) 洗剤 (4) 薬 (5) その他 ( )

誤飲したものはどこにありましたか?  
子どもの(1)手の届く所 (2)手の届かない所

問8. 何をしていたときに事故にありましたか?  
(1)歩行 (2)遊び (3)運動中 (4)食事中 (5)自転車運転 (6)自転車に乗せられて(7)授乳・保育中 (8)自動車・バスに乗車 (9)親の買い物中(10)その他 ( )

問9. 事故に関係したものは何ですか?  
(1)家具、学校等の机・イス・棚など (2)階段 (3)廊下 (4)ベランダ (5)窓・カッパ(6)手動ドア (7)自動ドア (8)電車のドア (9)自動車 (10)エレベーターのドア (11)イス・椅子 (12)自転車 (13)自転車の補助具 (14)樹木 (15)遊具(ブランコなど) (16)おもちゃ(17)その他 ( )

問10. 身体どこを受傷しましたか?  
(1) 頭・顔 (2) 腕 (3) 手 (4) 胸部 (5) 臍部 (6) 背中 (7) 足 (8) その他 ( )

裏面もお願いします

**アンケートのつづき**

問11. 事故があった時、あなたはどのような行動をとりましたか? ( 2つ以上でも結構です )  
(1)応急処置 (2)119番通報 (3)病院に連絡(4)何もしない (5)その他 ( )

問12. ケガややけどの程度はどのくらいでしたか?  
(1) 病院に行かなかった (2) 通院(日間) (3) 入院(日間) (4) 入院(日間) (5) その他 ( )

問13. 事故があったとき、あなたは子どもが見えるところにいましたか?  
(1) いた (2) いなかった (3) おぼえていない・わからない (4) おぼえていない・わからない

問14. その事故の責任は、だれにあると思いますか? あてはまるすべてに をしてください。  
(1)本人 (2)保護者 (3)製品等の製造者 (4)幼稚園・保育園・学校 (5)行政 (6)公園・遊び場、建物等の管理者

問15. 事故には至らなかったが、ヒヤッとすると、ハットする危険を感じたことはありますか?  
( はい ・ いいえ ) はい 問16へ、いいえ 問21へ

問16. そのときの子どもの性別・年齢を記入してください。(複数の場合は2件まで記入してください)  
( 男 子 ・ 女 子 ) 歳 ヶ月 ( 男 子 ・ 女 子 ) 歳 ヶ月

問17. どこで事故にありそうになりましたか?  
(1) 自宅 (2) 公園・広場(3) デパート・スーパー等 (4) 道路 (5) 駅 (6) 幼稚園・保育園・小学校(7) その他 ( )

問18. どのような事故にありそうになりましたか?  
(1) 転倒・転落 (2) 挟まれ (3) 衝突(4) 誤飲 (5) その他 ( )

問19. 何をしていたときに事故にありそうになりましたか?  
(1)歩行 (2)遊び (3)運動中 (4)食事中 (5)自転車運転 (6)自転車に乗せられて(7)授乳・保育中 (8)自動車・バスに乗車 (9)親の買い物中 (10)その他 ( )

問20. 関係したものは何ですか?  
(1)家具、学校等の机・イス・棚など (2)階段 (3)廊下 (4)ベランダ (5)窓・カッパ(6)手動ドア (7)自動ドア (8)電車のドア (9)自動車 (10)エレベーターのドア (11)イス・椅子 (12)自転車 (13)自転車の補助具 (14)樹木 (15)遊具(ブランコなど) (16)おもちゃ(17)その他 ( )

問21. 普段、子どもがどこでどんな遊びをしているか知っていますか?  
( 知っている ・ 知らない )

問22. あなたは、子どもが遊んでいるとき、事故にあわないように気を配っていますか?  
( 常に注意している ・ ときどき注意している ・ 注意していない )

問23. 子どもの事故、事故防止に関する次の(1)~(4)の考えについて、それぞれ「はい・1」「いいえ・2」「どちらとも言えない・3」のいずれかで教えてください。  
(1) 事故が起こりやすい公園の遊具は取り除き、設置すべきではない。 (2) 駅、デパート、スーパー等の事故防止について、法律で定めるべきである。 (3) 軽度な事故は、その後の安全な行動をするうえで良い経験である。 (4) 保護者・大人が、子どもの事故の様子、事故を防ぐことが大事であることを理解するようになれば、子どもの大きな事故は少なくなる。

問24. 子どもの事故防止のために行政や事業者などに要望することがあれば記入してください。

これでアンケートを終了いたします。ご協力ありがとうございました。アンケートに関するお問い合わせは、下記の連絡先までお願いいたします。  
東京消防庁指導広報部生活安全課  
電話 03(3212)2111 内線 5484・5485

## 2. 小学校教員

**子どもの事故に関するアンケート調査**

東京消防庁では、子どもの事故に関する調査を行います。  
建築物に設置された自動回転ドアの事故をはじめ、公園・遊び場、学校のブランコ、すべり台などの遊具による事故等に見られるように、これまでに予想もなかった事故が相次いで発生し、子どもの安全を脅かしています。子どもの安全確保及び事故防止対策に役立てるためにアンケートをお願いするものです。ご協力お願いいたします。

あなたが担任された(担任されている)児童が、学校内の管理下で平成15年4月~ご回答時までの間に事故にあったことについてお伺いします。以下の質問に 印や文字などでお答えください。

注1:このアンケートでは、事故を「ケガ、やけど、誤飲、動物にかまれる、ハチに刺される」とします。  
注2:このアンケートでは、保健室での応急処置を受けた、医療機関での診断・治療を要した事故についてお答えください。

問1. あなたは現在何年生の担任ですか?  
(1) 1年生 (2) 2年生 (3) 3年生 (4) 4年生 (5) 5年生 (6) 6年生

問2. 担任の児童(担任であった児童)が、学校内で事故にあったことがありますか?  
( はい ・ いいえ ) はい 問3へ、いいえ 問12へ

問3. 事故にあった児童の当時の性別・年齢を記入してください。(複数の場合は2件まで記入してください。)  
( 男 子 ・ 女 子 ) 歳 ( 男 子 ・ 女 子 ) 歳

問4. 事故の日時等について教えてください。  
平成 年 月 午前/午後 時頃 平成 年 月 午前/午後 時頃  
(1) 授業中 (2) 休み時間 (3) 放課後 (4) 授業中 (2) 休み時間 (3) 放課後

問5. 事故はどこで起きましたか?  
(1)教室 (2)体育館 (3)プール(4)校庭 (5)廊下 (6)階段 (7)その他 ( )

問6. どのような事故でしたか?  
(1) 転倒・転落 (2) 挟まれ (3) 衝突(4) 誤飲 (5) その他 ( )

問7. その事故は、児童が何をしていた時に起きましたか?  
(1) 歩行・走行 (2) 勉強中 (3) 運動中 (4) 遊び (5) 掃除・行事の準備や片づけ(6) 給食 (7) その他 ( )

問8. その事故に関係したものは何ですか?  
(1) 机・イス・棚 (2) 階段 (3) 廊下 (4) ベランダ (5) 窓・サッシ (6) ドア (7) 体育用具・遊具 (8) 樹木 (9) その他 ( )

問9. 身体どこを受傷しましたか?  
(1) 頭・顔 (2) 腕 (3) 手 (4) 胸部 (5) 臍部 (6) 背中 (7) 足 (8) その他 ( )

裏面もお願いします

**アンケートのつづき**

問10. 事故が起きた時、あなたはどのような行動をとりましたか? ( 複数回答可 )  
(1) 保健室に行った (2) 家庭に連絡 (3) 119番通報 (4) 病院に連絡 (5) 何もしない (6) その他 ( )

問11. ケガ、やけどの程度はどのくらいでしたか?  
(1) 病院に行かなかった (2) 通院(日間) (3) 入院(日間) (4) 入院(日間) (5) その他 ( )

問12. 事故には至らなかったが、ヒヤッとすると、ハットする危険を感じたことはありますか?  
( はい ・ いいえ ) はい 問12-1へ、いいえ 問13へ

問12-1. その時の児童の性別・年齢を記入してください。(複数の場合は2件まで記入してください。)  
( 男 子 ・ 女 子 ) 歳 ( 男 子 ・ 女 子 ) 歳

問12-2. どこで事故にありそうになりましたか?  
(1)教室 (2)体育館 (3)プール(4)校庭 (5)廊下 (6)階段 (7)その他 ( )

問12-3. どのような事故にありそうになりましたか?  
(1) 転倒・転落 (2) 挟まれ (3) 衝突(4) 誤飲 (5) その他 ( )

問12-4. 何をしていたときに事故にありそうになりましたか?  
(1) 歩行・走行 (2) 勉強中 (3) 運動中 (4) 遊び (5) 掃除・行事の準備や片づけ(6) 給食 (7) その他 ( )

問12-5. 関係したものは何ですか?  
(1) 机・イス・棚 (2) 階段 (3) 廊下 (4) ベランダ (5) 窓・サッシ (6) ドア (7) 体育用具・遊具 (8) 樹木 (9) その他 ( )

問13. 児童の行動を注意していますか?  
(1) 常に注意している (2) ときどき注意している (3) 注意していない

問14. 子どもの事故、事故防止に関する次の(1)~(6)の考えについて、それぞれ「はい・1」「いいえ・2」「どちらとも言えない・3」のいずれかに をおつください。  
(1) 事故が起こりやすい公園の遊具は取り除き、設置すべきではない。 (2) 駅、デパート、スーパー等の事故防止について、法律で定めるべきである。 (3) 軽度な事故は、その後の安全な行動をするうえで良い経験である。 (4) 保護者・大人が、子どもの事故の様子、事故を防ぐことが大事であることを理解するようになれば、子どもの大きな事故は少なくなる。 (5) 学校管理下で発生している重傷を伴う事故は、教職員による施設・設備の安全管理を徹底することにより、軽減させることができる。 (6) 学校管理下で発生している重傷を伴う事故は、安全教育を徹底することにより、軽減させることができる。

これでアンケートを終了いたします。ご協力ありがとうございました。アンケートに関するお問い合わせは、下記の連絡先までお願いいたします。  
東京消防庁指導広報部生活安全課  
電話 03(3212)2111 内線 5484・5485

### 3.小学生

**小学生の事故アンケート**

東京消防庁では、小学生の事故を調べています。  
あなたが事故にあったようすを教えてください。

**事故とは、「けが、やけど、イヌ・ウサギなどにかまれる、ものがどにつまる」などです。**  
質問は全部で7つです。「」や「文章」で答えてください。

質問1. あなたの「性別」「学年」「年齢」を教えてください。

1. 性別	(1) 男の子 (2) 女の子
2. 学年	(1) 3年 (2) 4年 (3) 5年 (4) 6年
3. 年齢	(1) 8歳 (2) 9歳 (3) 10歳 (4) 11歳 (5) 12歳

質問2. あなたは、小学生になってから「事故があったこと」はありますか？

(1) はい このまま続けてください  
(2) いいえ これで終わります。ありがとうございました。

質問3. 質問2で「事故があったことがあります」をした人に質問します。  
2回以上事故があったことのある人は、「一番大きな事故について教えてください。  
「いつ」事故においきましたか？その時、あなたは「何を」してしまいましたか？

(1) 登校・下校する時	(2) 授業中
(3) 休み時間	(4) 遊びに行く時・帰る時
(5) 遊んでいる時	(6) 運動中
(7) 塾、習い事に行く時・帰る時	(8) 買い物、お使いに行く時・帰る時
(9) 家にいる時	(10) その他( )

事故があった時、私は、

(1) 歩いていました。 (2) 走っていました。  
(3) 食べて・飲んでいました。 (4) ふざけていました。  
(5) 自転車に乗っていました。 (6) 自動車で乗っていました。  
(7) 電車・バスに乗っていました。  
(8) 遊具(ぶらんこ・すべり台などで)遊んでいました。  
(9) おもちゃ・ゲームで遊んでいました。  
(10) その他( )

質問4. 「どのような」事故でしたか？(5)と(6)は( )にくわしく書いてください。

(1) 転んだ	(2) 落ちた
(3) ぶつかった	(4) 獲まった
(5) ( )がどにつまった	(6) ( )を間違えて飲んだ
(7) やけどした	(8) (ナイフ・カッターで)切った
(9) (動物に)かまれた	(10) (虫に)さされた
(11) 溺れた	(12) 気持ちが悪くなった
(13) その他( )	

(アンケートは裏もつづきます) 質問はうらにもあります うらに質問6-8があります

(質問のつづき)

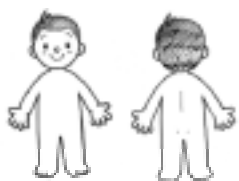
質問5. 「どこで」事故は起きましたか？1. は必ず答えてください。2. と3. はあてはまるものがあれば答えてください。

1. どこで	2. あてはまるものを してください。
(1) 学校 (2) 公園・広場・遊び場 (3) 遊園地 (4) 家 (5) デパート・スーパー・お店 (6) 駅 (7) 道路 (8) その他( )	(1) 玄関・昇降口 (2) 教室 (3) 廊下 (4) 体育館 (5) 校庭 (6) 食堂・台所 (7) 廊下・通路 (8) 図書室 (9) トイレ (10) 階段 (11) おふる場 (12) ベランダ (13) 庭園 (14) 屋上 (15) 庭 (16) プール (17) 水飲み場 (18) レストラン (19) デパート・スーパー・お店の商品売っている場所(売り場) (20) ゲームセンター

3. あてはまるものを してください。

(1) バス (2) 電車 (3) 机・テーブル (4) イス (5) 家具 (6) 窓 (7) ドア (8) おもちゃ (9) 自動筆 (10) 自転筆 (11) 自転筆の補助(後るの)イス (12) 電車・バス (13) すべり台 (14) ぶらんこ (15) シーズー (16) 鉄棒 (17) すべり棒・登り棒 (18) ジャンクルジム (19) うんでい・たいこ儀 (20) 木 (21) 園芸工作で使う用具(のこぎり・彫刻刀など) (22) そうじ用具 (23) はさみ (24) はうちょう (25) ナイフ・カッター (26) エスカレーター (27) エレベーター (28) なべ・フライパン・やかなど台所で使うもの (29) その他( )
---

質問7. どこにケガ・やけどをしましたか？(あてはまるところに つつけてください)



質問8. ケガ・やけどをしたあと、どうしましたか？(あてはまる番号のぜんぶに )

(1) 保健室にいった	(2) 病院に行った( 目)
(3) 入院した ( 目)	(4) 家族(家の人)に手当をしてもらった
(5) 近所の人に手当をもらった	(6) がまんした・自分であてした
(7) その他( )	

これでアンケートは終わります。ありがとうございました。